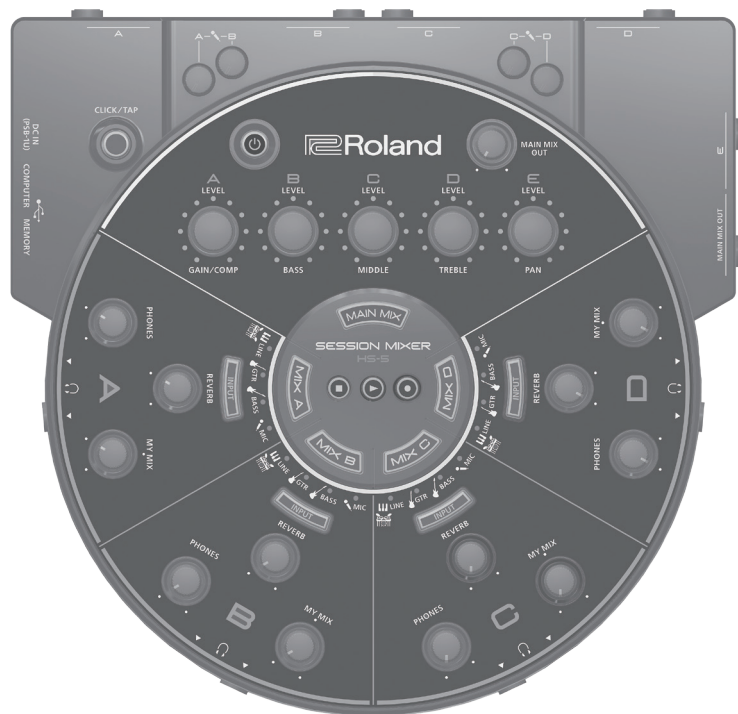




SESSION MIXER HS-5 取扱説明書



目次

各部の名称とはたらき	2	演奏を録音／再生する	8
トップ／サイド・パネル	2	演奏の録音	8
リア・パネル	2	演奏の再生	8
HS-5 の使いかた	3	詳細な設定をしたいときは	9
接続のしかた	3	サブ・ミキサーの設定	9
基本的な使いかた	4	サブ・ミキサー設定の共有	9
インプット・タイプを選ぶ	5	ソロ機能	9
インプット・タイプの切り替え	5	設定の保存と読み込み (スナップ・ショット)	10
効果 (アンプ・シミュレーター／エフェクト) の変更とパラメーターの調整	5	音量リミッターの設定	10
ヘッドホン出力を調整する	6	2台のHS-5をつないで使う	11
自分の演奏と他の人の演奏の音量バラ ンス調整 (MY MIX)	6	スタンドに取り付ける	11
ヘッドホン出力の音量調整	6	パソコンと接続する	11
クリック音を鳴らす	6	安全上のご注意	12
クリックのオン／オフとテンポの設定 ..	6	Auto Off の設定方法	12
クリック音の音量調節	6	使用上のご注意	12
エフェクトをかける	7	工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)	12
リバーブ (響き) をかける	7	主な仕様	13
リバーブ・タイプの変更とパラメーター の調整	7		

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.12))をよくお読みください。また、本機の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要となきときに見ることができるよう、手元に置いてください。

© 2014 ローランド株式会社 本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。



各部の名称とはたらき

トップ/サイド・パネル

接地端子
『接地端子について』(P.12)をご覧ください。

DC IN 端子
付属の AC アダプターを接続します。

COMPUTER 端子
パソコンと USB ケーブルで接続する場合に使用します。

MEMORY 端子
USB メモリーを接続します。

[CLICK/TAP] ボタン
クリック音のオン/オフと鳴らすテンポを設定します。

電源ボタン
HS-5 の電源をオン/オフします。

マイク・ゲイン調整つまみ
セクション A ~ D のマイク・ゲイン (感度) を調整します。

[MAIN MIX OUT] つまみ
MAIN MIX OUT L、R / ヘッドホン端子の出力音量を調整します。

LINE IN L、R / STEREO 端子
キーボードやオーディオ・プレイヤーなどのライン出力機器を接続します。

MAIN MIX OUT L、R / ヘッドホン端子
セクション A ~ E の音がミックスされて出力されます。

[A] ~ [E] つまみ
セクション A ~ E のミックス・バランスを調整します。また、インプット・タイプで選んだ効果のかかり具合、クリック音のテンポや音量を調整します。

セクション A ~ D
ヘッドホンを接続して、音量の調整や自分の演奏と他の人の演奏の音量バランスを調整します。また、演奏に適した効果や響き (リバーブ) を加えることができます。

[MAIN MIX] ボタン
メイン・ミキサーの音量バランスを調整したい場合に使用します。

[MIX A ~ D] ボタン
サブ・ミキサーをオンにして、自分の演奏と他の人の演奏の音量バランスを調整します。

ボタン
USB メモリーに演奏を録音したり、録音した演奏を再生したりします。

リア・パネル

ギター (L/MONO) / R 端子
ギターやベース、電子ドラムなど、演奏する楽器を接続します。ギターを接続するときは、HS-5 を裏返して、自分のセクションの [Hi-Z] スイッチ (A ~ D) をオンにします。

MIC 端子
ダイナミック・マイクを接続します。
※ 本機はバランス (XLR) タイプの端子を装備しており、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認の上、接続してください。

2: HOT 1: GND 3: COLD

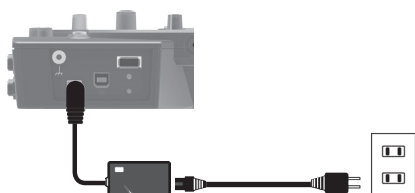
HS-5 の使いかた

接続のしかた

HS-5 と AC アダプター、マイクやギターなどの機器の接続方法を紹介します。

電源の入れかた／切りかた

1. 付属の AC アダプターを、DC IN 端子につなぎます。



AC アダプターは、インジケーター（図参照）のある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

2. 接続する機器の音量が絞られていることを確認します。
3. マイクやギターなどの演奏に使用する機器を接続します。
4. ボタンを長押しして、HS-5 の電源を入れます。
5. 接続した機器の電源を入れます。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

※ 本機は、USB 接続がない状態で、操作をやめてから 600 分経過すると自動的に電源が切れます。

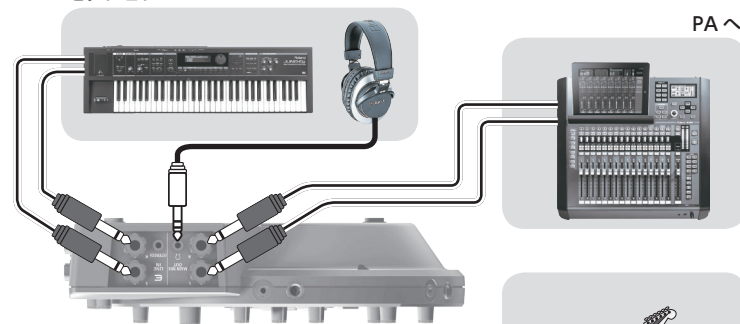
➔ 「Auto Off 機能について」(P.12)

電源を切るときは、**5 → 4 → 3** の順で機器の電源を切ります。

セクション D



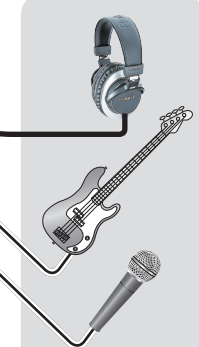
セクション E



PA へ



セクション C



セクション B

図中のプラグについて

- 標準 (ステレオ)
- 標準 (モノラル)
- XLR
- ステレオ・ミニ

機器の接続について

使用する楽器によって接続する端子、設定が異なります。以下を参照し、正しく接続してください。

ヘッドホンをつなぐ

- セクション A ~ D には、標準タイプとステレオ・ミニ・タイプのヘッドホン端子があります。使用するヘッドホンの端子タイプを確認して、接続します。
- セクション E は、MAIN MIX OUT にあるステレオ・ミニ・タイプの 端子にヘッドホンをつなぎます。

ダイナミック・マイクをつなぐ

1. マイク・ゲイン調整つまみを左に回し、位置を最小にします。
2. マイク入力端子に、ダイナミック・マイクをつなぎます。

ギターをつなぐ

1. 本体裏面にある、[Hi-Z] スイッチをオンにします。
2. ギター (L/MONO) 端子に、ギターをつなぎます。



電子ドラムやシンセサイザーをつなぐ

1. 本体裏面にある、[Hi-Z] スイッチをオフにします。
2. ギター (L/MONO) 端子と R 端子に、楽器をつなぎます。



- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- ※ 正しく接続したら「電源の入れかた／切りかた」の手順で電源を入り／切りしてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

- ※ 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、インプット (MIC 端子、ギター (L/MONO) / R 端子、LINE IN L、R / STEREO 端子) に接続した機器の音量が小さくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブルを使用してください。
- ※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音 (キーンという音) が出ることがあります。その場合は、次のように対処してください。

- マイクの向きを変える
- マイクをスピーカーから遠ざける
- 音量を下げる

基本的な使いかた

1 入力のレベルを調整する

歌声や演奏の音が歪まないように適切な入力レベルに調整します。

1. [PHONES] つまみと [MY MIX] つまみを真ん中の位置に合わせます。

2. 音声、演奏音が歪まないように、適切な入力レベルに調整します。

※ 音声、演奏音を入力した際、自分のセクションに対応するつまみ (A ~ E) のインジケータが、赤く点灯しないように調整します。



マイクの調整方法

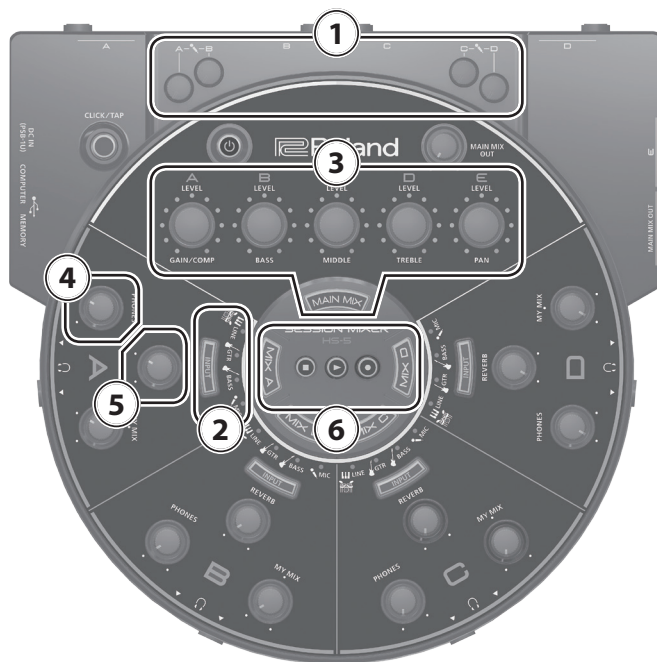
マイクに音声を入力しながら、自分のセクションに対応するマイク・ゲイン調整つまみを回します。



マイク・ゲイン調整つまみ

ギターやキーボード、ドラムの調整方法

演奏する楽器の出力音量を大きく/小さくして調整します。



2 インput・タイプを選ぶ

[INPUT] ボタンで、インプット・タイプを選びます。タイプごとに適した効果を加えることができます。

※ 効果を加えたくない場合は、[LINE] を選びます。



インプット・タイプ

[INPUT] ボタン

3 全体の音量バランスを調整する

全員の演奏の音量バランスを調整します。

1. [MAIN MIX] ボタンを押して、点灯させます。

2. [A] ~ [E] つまみを真ん中の位置に合わせます。

3. [A] ~ [E] で、各セクションの音量を調整します。

※ 演奏者全員で音を鳴らしながらつまみの操作すると、全体の音量調整がしやすくなります。

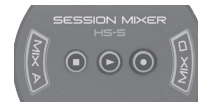


[A] ~ [E] (LEVEL) つまみ

[MAIN MIX] ボタン

6 演奏を録音 / 再生する

HS-5 は、MEMORY 端子につないだ USB メモリーに、演奏を録音することができます。



ボタン	操作
	再生、録音を停止します。
	演奏の再生をします。
	録音を開始します。
	1 つ前のデータを選びます。
	次のデータを選びます。
	早戻しします。
	早送りします。

5 リバーブ (響き) をかける

[REVERB] つまみで、ボーカルや演奏音にリバーブ (響き) を加えます。

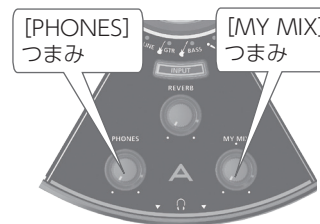


[REVERB] つまみ

4 ヘッドホン出力を調整する

各セクションの [MY MIX] つまみで自分の演奏と他の人の演奏の音量バランス、[PHONES] つまみでヘッドホンの音量調整をします。

※ 本機は、大音量での出力が可能です。耳を痛めないよう、音量にご注意ください。



[PHONES] つまみ

[MY MIX] つまみ

インプット・タイプを選ぶ

セクションごとに、ギターやベース、ボーカルに適したアンプ・シミュレーター／エフェクトの効果を加えることができます。また演奏に合わせて、加える効果を変更することも可能です。

インプット・タイプの切り替え

インプット・タイプは、[INPUT] ボタンを押して切り替えます。



タイプ	説明
LINE	楽器の音に効果を加えず、そのままの音で聴くことができます。
GTR	ギター用のアンプ・シミュレーターの効果を加えることができます。ナチュラルな響きのサウンドから、ファットな歪みのサウンドまで表現することができます。(L/MONO) /R 端子からの入力信号に効果がかかります。
BASS	ベース用のアンプ・シミュレーターの効果を加えることができます。低音の音をより大きく、太くすることができます。(L/MONO) /R 端子からの入力信号に効果がかかります。
MIC	ボーカル用のエフェクトをかけることができます。音圧を上げ、ボーカルの存在感を出すことができます。マイク端子からの入力信号に効果がかかります。

ギター、ベース、ボーカルに効果を加えたくない場合は、「LINE」を選びます。また、加える効果は変更することができます。詳しくは次項をお読みください。

効果 (アンプ・シミュレーター／エフェクト) の変更とパラメーターの調整

HS-5 は、ギター、ベース、ボーカル用のアンプ・シミュレーター／エフェクトが複数用意されています。演奏に合わせて変更することができます。

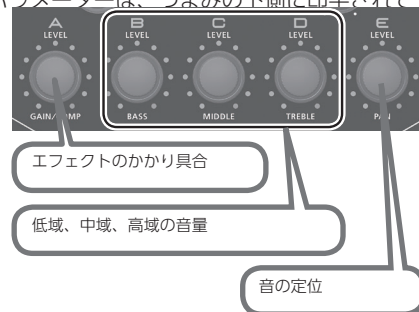
パラメーターの調整

選択したアンプ・シミュレーター／エフェクトは、[A] ~ [E] つまみを動かして、パラメーターを調整することができます。各つまみで調整できるパラメーターは、つまみの下側に印字されています。

- 自分のセクションの [INPUT] ボタンを長押しします。

[INPUT] ボタンが点滅します。

- [A] ~ [E] つまみで、パラメーターを調整します。



効果 (アンプ・シミュレーター／エフェクト) の変更

インプット・タイプで加える効果は、演奏に合わせて変更することができます。

- [INPUT] ボタンを押して、インプット・タイプを切り替えます。
- 自分のセクションの [INPUT] ボタンを長押しします。
- [INPUT] ボタンを押しながら [A] つまみを回して、加える効果 (アンプ・シミュレーター／エフェクト) を変更します。

タイプ	インジケーター	効果 (アンプ・シミュレーター／エフェクト)		
LINE	-	LINE	楽器の音に効果を加えず、そのままの音で聴くことができます。	
	1	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。	
	2	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。	
	3	TWEED	Fender の Bassman 4x10" Combo をモデリングしています。	
	4	DELUXE CRUNCH	Fender の Deluxe Reverb をモデリングしています。	
	5	VO DRIVE	VOX AC-30TB のドライブ・サウンドをモデリングしています。60 年代ブリティッシュ・ロックに適したサウンドです。	
	GTR	6	MS HIGAIN	ビンテージ Marshall に COSM ならではのモデリング技術によって特別な改造を施した、ハイ・ゲイン・サウンドです。
		7	BG LEAD	Mesa/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。70 年代後半～80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
		8	MS1959 I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。
		9	R FIER VNT	MESA/Boogie DUAL Rectifier のチャンネル 2 VINTAGE モードをモデリングしています。
10		T AMP	Hughes & Kettner Triamp の AMP3 をモデリングしています。	
BASS	1	COMP BASS	ベース用コンプレッサー	
	2	COMP SLAP	スラップ・ベース用コンプレッサー	
	3	AMP CLEAN	ベースに適したクリーン・サウンドです。	
	4	AMP CRUNCH	ベースに適した、自然な歪みが得られるクランチ・サウンドです。	
	5	AMP HIGAIN	ベースに適したハイ・ゲインなサウンドです。	
MIC	1	コンプレッサー		
	2	コンプレッサー + エコー		
	3	コンプレッサー + デイレイ 1		
	4	コンプレッサー + デイレイ 2		
	5	コンプレッサー + ショート・デイレイ		

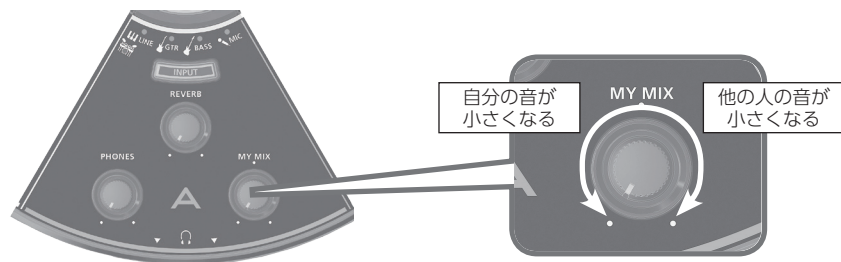
ヘッドホン出力を調整する

ヘッドホンの出力は、各セクションの [PHONES] つまみと [MY MIX] つまみで調整します。

自分の演奏と他の人の演奏の音量バランス調整 (MY MIX)

セクション A ~ D につないだヘッドホンからは、自分の演奏と他の人の演奏がミックスされた状態で聞こえます。自身の演奏が聞き取りやすくなるように、[MY MIX] つまみで音量のバランスを調整します。

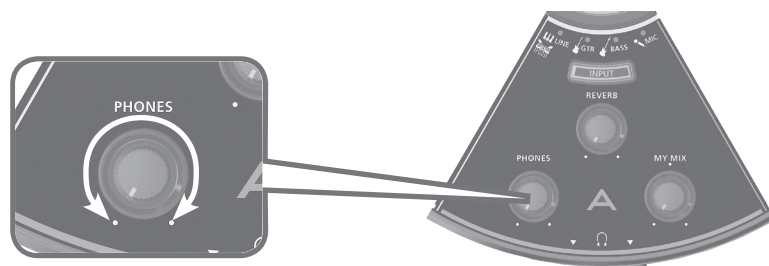
[MY MIX] つまみは、右に回すと他の人の演奏の音は小さくなり、左に回すと自分の演奏の音が小さくなります。



ヘッドホン出力の音量調整

音量バランスの調整ができたなら、[PHONES] つまみでヘッドホンの出力音量を調整します。

※ [PHONES] つまみの音量は、[MY MIX] つまみで調整したバランスのまま変化します。



クリック音を鳴らす

HS-5 は、クリック音を鳴らしながら演奏をすることができます。クリック音の音量は、セクションごとに調整することが可能です。初期設定では、テンポは 120 BPM に設定されています。

クリックのオン/オフとテンポの設定

1. [CLICK/TAP] ボタンを押します。

[CLICK/TAP] ボタンが点滅し、クリック音が鳴り始めます。

2. 曲のテンポに合わせて [CLICK/TAP] ボタンを繰り返しタップ (押す) します。

ボタンをタップしたテンポに合わせて、クリック音が鳴ります。

※ 設定したテンポは、本体の電源を切っても記憶されています。

テンポを確認する

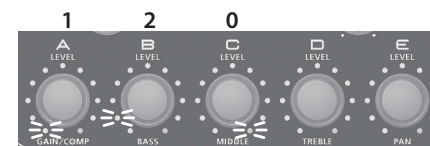
設定したテンポは、[A] ~ [C] つまみのインジケータの点灯で確認することができます。

1. [CLICK/TAP] ボタンを長押しします。

[A] ~ [C] つまみのインジケータが点灯して、現在のテンポが表示されます。また、[A] ~ [C] つまみを回すと、テンポを変更することができます。

(例) テンポ 120 BPM

つまみ	表示する値
[A]	百の位
[B]	十の位
[C]	一の位



3. [CLICK/TAP] 以外のボタンを押して、テンポの設定を終了します。

[A] ~ [E] つまみのインジケータが、通常表示に戻ります。

4. クリック音を停止する場合は、[CLICK/TAP] ボタンを押します。

[CLICK/TAP] ボタンが消灯します。

クリック音の音量調節

クリック音の音量は、[CLICK/TAP] ボタンを押しながら、自分のセクション ([A] ~ [E]) のつまみを回して調整します。

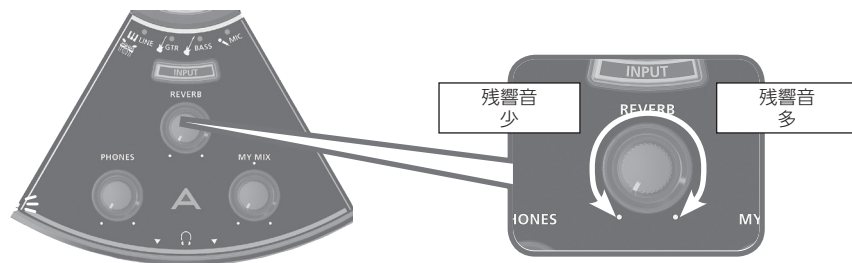
エフェクトをかける

HS-5 の各セクションには、歌声や演奏の音に残響を加えるリバーブが用意されています。

リバーブ（響き）をかける

歌声や演奏にリバーブ（響き）を加えると、音が柔らかになり、演奏全体のバランスをよくすることができます。

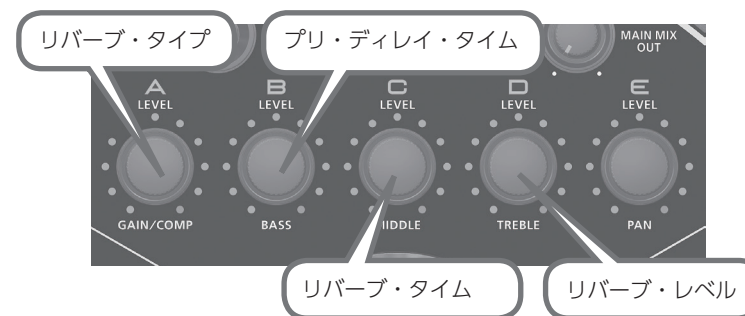
※ リバーブは、かけすぎると歌声や演奏の音が残響音に埋もれてしまい、聞こえにくくなります。はじめは、少しだけリバーブをかけて調整するとよいでしょう。



リバーブ・タイプの変更とパラメーターの調整

リバーブのタイプと響きかたを変更することができます。

1. セクション B とセクション C の [INPUT] ボタンを長押しします。
[INPUT] ボタンが点滅します。
2. [A] ~ [D] つまみでタイプとパラメーターを変更します。



インジケータ の数	リバーブ・タイプ	説明
1	ECHO	やまびこのような効果をシミュレートしています。
2	ROOM	室内で演奏しているような残響をシミュレートしています。
3	SMALL HALL	小ホールで演奏しているような残響をシミュレートしています。
4	LARGE HALL	大ホールで演奏しているような残響をシミュレートしています。
5	PLATE	プレート・エコー（金属板の振動を利用したリバーブ）をシミュレートしています。

演奏を録音／再生する

HS-5 は、MEMORY 端子につないだ USB メモリーに演奏を録音することができます。



ボタン	操作
	再生、録音を停止します。
	演奏の再生をします。
	録音を開始します。
をすばやく 2 回押す (タップ)	1 つ前のデータを選びます。
+	次のデータを選びます。
+ [MIX A]	早戻しします。
+ [MIX D]	早送りします。

ご注意!

メイン・ミキサーからの出力が録音されます。
各セクションの [PHONES] つまみ、[MY MIX] つまみの調整、[MAIN MIX OUT] つまみの設定は反映されません。

演奏の録音

以下の手順で、USB メモリーに演奏を録音することができます。

1. MEMORY 端子に USB メモリー (別売) をつなぎます。

※ USB メモリーは、あらかじめパソコンでフォーマット (FAT 形式) してください。
フォーマットをすると、USB メモリー内のデータは消去されます。必要なデータが記録されている場合は、バックアップを取ってからつないでください。

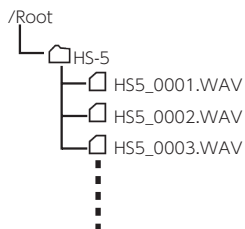
2. ボタンを押し、演奏の録音を開始します。

3. 演奏が終わったら、 ボタンを押し録音を停止します。

録音データについて

録音データは、16 ビット 44.1kHz、ステレオの Wav 形式で記録され、1 回の録音で最大 200 分まで記録することができます。

また、録音データは USB メモリーの [HS-5] というフォルダーに HS5_****.wav (**** は作成順) というファイル名で格納されます。



演奏の再生

USB メモリーに記録した演奏を聴いて確認をしたり、聴きながら練習をしたりすることができます。

1. MEMORY 端子に USB メモリー (別売) をつなぎます。

2. 再生するデータを選び、 ボタンを押します。

3. 再生を停止する場合は、 ボタンを押します。

- クリック音を聞きながら演奏の再生をしていた場合は、クリック音も合わせて止まります。
- [CLICK/TAP] ボタンを押しながら ボタンを押すと、クリック音だけ止めることができます。

録音レベルと再生レベルの調整

※ 通常は調整する必要はありません。

録音レベルの調整

1. 録音レベルを確認する。

録音中に音が歪むと、 ボタンが点滅します。

2. 録音レベルを調整する。

ボタンを押したまま LEVEL つまみ [A] を回してレベルを調整します。



(工場出荷時の値)

再生レベルの調整

再生音量が大きい場合は、次の手順で再生レベルを調整することができます。

1. 再生レベルを調整する。

ボタンを押したまま LEVEL つまみ [A] を回してレベルを調整します。

詳細な設定をしたいときは

HS-5 のより進んだ使用方法を説明します。

サブ・ミキサーの設定

HS-5 は、メイン・ミキサーと 4 系統のサブ・ミキサー (MIX A ~ D) を持っています。サブ・ミキサーは、メイン・ミキサーから独立しており、自分の演奏がよりしやすくなるよう、個別の調整をすることが可能です。

サブ・ミキサーの使用例

あなたはベーシストでセクション B を使用し、ドラマーがセクション D を使用しているとします。「あなた (セクション B) はドラム (セクション D) の音は大きくしたいけど、ドラマーはメイン・ミキサーの設定 (バランス) を変えて欲しくない」というような場合に、サブ・ミキサーを使用するとよいでしょう。

1. サブ・ミキサーを設定するセクションの [MIX A ~ D] ボタンを押し、点灯させます。
2. [A] ~ [E] つまみで各セクションの音量バランスを調整します。

※ サブ・ミキサーの使用を止める場合は、[MIX A ~ D] ボタンを点灯させてから、もう一度ボタンを押して消灯させます。

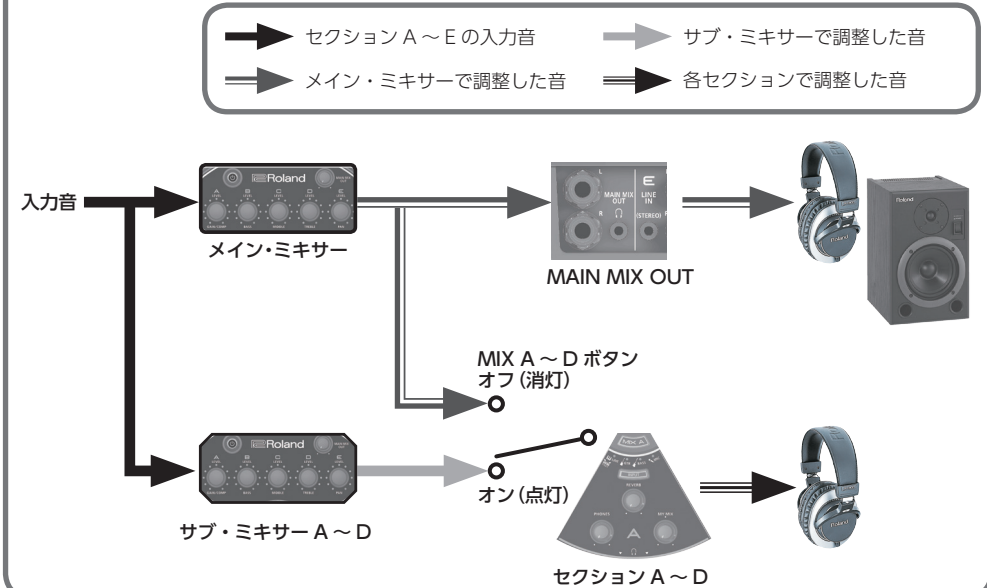


[MIX A ~ D] ボタンの点灯状態について

サブ・ミキサーの設定をする際、[MIX A ~ D] ボタンの点灯のしかたで、サブ・ミキサー設定の状態を確認することができます。

[MIX A ~ D] ボタンの状態	説明
点灯	サブ・ミキサーがオンで、[A] ~ [E] つまみで調整ができます。
淡く点灯	サブ・ミキサーがオンで、[A] ~ [E] つまみで調整ができません。 ※ サブ・ミキサー設定の共有をする際、共有元にすることができます。
消灯	サブ・ミキサーがオフです。
点滅	ソロ機能が有効になっています。

信号の流れ



サブ・ミキサー設定の共有

複数のセクションで、1 つのサブ・ミキサーを共有することができます。共有をすると、セクション A と同じサブ・ミキサーの設定をセクション B や C でも使用することが可能です。

1. 自分のセクションの [MIX A ~ D] ボタンを押しながら、共有元セクションの [MIX A ~ D] ボタン (淡く点灯) を押します。
共有元のサブ・ミキサーが、自分のセクションにアサインされます。
※ 消灯している [MIX A ~ D] ボタンからは、設定を共有できません。
※ 共有を解除する場合は、解除するセクションの [MIX A ~ D] ボタンを押して点灯させてから、もう一度ボタンを押して消灯させます。

ソロ機能

自分のセクションの演奏音だけを聴くことができます。また、ソロ機能を使用している際は、他のセクションへ音が出力されなくなります。チューニングをしたり、個人練習したりするときに便利な機能です。



ソロ機能を有効にするには、自分のセクションの [MIX A ~ D] ボタンを長押しして点滅させます。

設定の保存と読み込み (スナップ・ショット)



スナップ・ショットを使用すると、現在の設定を USB メモリーに保存することができます。演奏場所を変更する場合や時間をおいて練習する場合など、設定を保存しておくことで簡単に演奏の再開をすることができます。

※ 本体の設定は、USB メモリーに 1 つだけ保存することができます。

設定の保存方法

1. MEMORY 端子に USB メモリー (別売) をつなぎます。
2. セクション C とセクション D の [INPUT] ボタンを長押しします。
[INPUT] ボタンが点滅します。
3.  ボタンを押し、設定を保存 / 上書き保存します。
ボタンの点滅が消えると、保存は完了です。完了後は、通常の状態に戻ります。
※ 保存 / 上書き保存をせずに、通常の状態に戻る場合は、 ボタンを押しします。

設定の読み込み方法

1. MEMORY 端子に USB メモリー (別売) をつなぎます。
2. セクション C とセクション D の [INPUT] ボタンを押します。
3.  ボタンを押し、設定を読み込みます。
ボタンの点滅が消えると、読み込みは完了です。完了後は、通常の状態に戻ります。
※ 読み込みをせずに、通常の状態に戻る場合は、 ボタンを押しします。

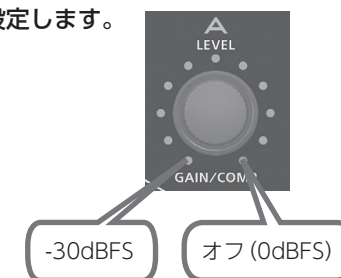
音量リミッターの設定

HS-5 は、あらかじめ出力できる最大音量を制限することができます。

※ 初期設定では、大音量で演奏が聞けるよう、出力音量に制限をかけていません (音量リミッター: オフ 0dBFS)。

1. セクション B とセクション D の [INPUT] ボタンを長押しします。
[INPUT] ボタンが点滅します。

2. [A] つまみで、最大音量 (-30dBFS ~ 0dBFS) を設定します。



2 台の HS-5 をつないで使う

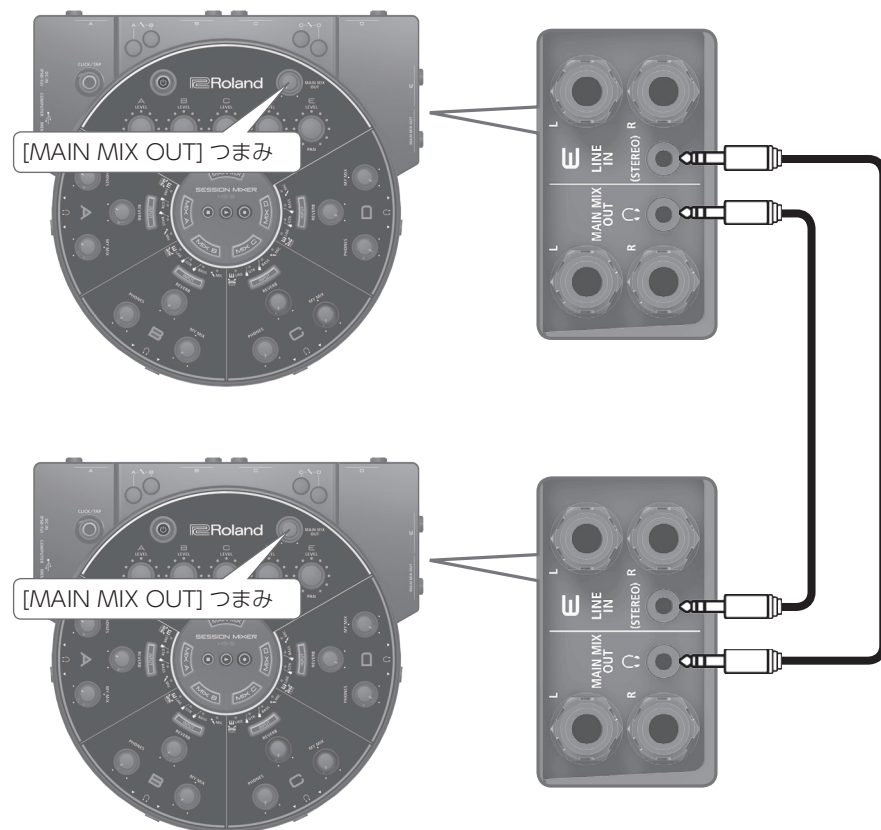
HS-5 は、2 台つないで最大 8 人同時に演奏をすることができます。

1. 本体底面にある [LINK] スイッチを、それぞれ ON にします。

- ※ [LINK] スイッチを ON にすると、[MAIN MIX OUT] つまみの調整が無効になります。
- ※ [LINK] スイッチを OFF にすると、[MAIN MIX OUT] つまみの調整が有効になります。つまみの位置によっては大きな音になることがありますので、[MAIN MIX OUT] つまみを絞ってから [LINK] スイッチを OFF にしてください。

2. セクション E の STEREO 端子 (入力) と MAIN MIX OUT ヘッドホン端子 (出力) を、相互にステレオ・ミニ・ケーブルでつなぎます。

- ※ 2 台目の HS-5 からの出力は、セクション E にミックスされた状態で入力されます。



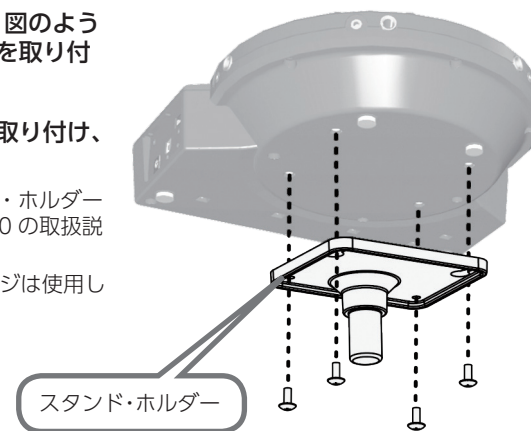
スタンドに取り付ける

HS-5 は、スタンド (別売 ; PDS-10) に取り付けて、使用することができます。

1. HS-5 の底面にあるネジを使って、図のように PDS-10 のスタンド・ホルダーを取り付けます。

2. スタンド・ホルダーを PDS-10 に取り付け、固定します。

- ※ PDS-10 の組み立てかたやスタンド・ホルダーの取り付けかたについては、PDS-10 の取扱説明書をご覧ください。
- ※ パッド・スタンドに付属しているネジは使用しないでください。



パソコンと接続する

HS-5 とパソコンを市販の USB2.0 ケーブルで接続すると、演奏をパソコンの録音 / 編集ソフト (DAW) で録音することができます。セクション A ~ E を個別のトラックに録音 (マルチ・トラック・レコーディング) することや、セクション A ~ E をミックスした音 (MAIN MIX) を録音することが可能です。

また録音だけではなく、パソコンで再生したステレオの曲や音声を、HS-5 で聴くこともできます。



- ※ パソコンにつなぐ前に USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

ローランド・ホームページ : <http://www.roland.co.jp/support/>

- ※ DAW の設定や録音の手順については、お使いの DAW の取扱説明書をお読みください。

安全上のご注意

警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要のあるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

Auto Off 機能について

本機は、USB 接続がない状態で、操作をやめてから 600 分経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。

Auto Off の設定方法

1. セクション B とセクション D の [INPUT] ボタンを長押しします。
[INPUT] ボタンが点滅します。
2. [B] つまみで、Auto Off をオン (インジケータ全点灯) / オフ (左端インジケータのみ点灯) します。

ご注意!

- 電源が切れると編集の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源をオンにするときは、電源を入れ直してください (P.3)。

指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド (型番: PDS-10) を使用してください (P.11)。

不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド (型番: PDS-10) を使用する場合、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。

警告

スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください (P.11)。正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド (PDS-10) とのみ、組み合わせて使用できるよう設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。

小さな部品はお子様手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 取りはずしが可能な部品

PDS-10 取り付け用ネジ (P.11)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるんではずれないように確実に取り付けてください。

使用上のご注意

設置について

- 設置条件 (設置面の材質、温度など) によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を变色または変質させることがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

接地端子について

- 設置条件によっては、本機や本機に接続した機器 (マイクやギターなど) の金属部に触れると、ビリビリとした感じがする場合があります。これは人体にまったく害のない極めて微量の帯電によるものですが、気になる場合は接地端子 (図参照) を使って外部のアースか大地に接地してお使いください。このとき、わずかにハム (うなり) が混じる場合があります。なお、接続方法がわからないときはローランドお客様相談センターにご相談ください。接続してはいけないところ
 - 水道管 (感電の原因になります)
 - ガス管 (爆発や引火の原因になります)
 - 電話線のアースや避雷針 (落雷のとき危険です)

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

修理について

- 当社では、本機の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- 録音中やコンピューターに接続されているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリー、USB ケーブルを抜いたりしないでください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱い前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
- USB メモリーは挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。

著作権について

- 第三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

商標 / ライセンスについて

- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム [eCROS™] が搭載されています。
- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)

HS-5 は、セクション A と B の [INPUT] ボタンを同時に押しながら電源をオンにすると、HS-5 を工場出荷時の状態に戻すことができます。

ご注意!

ファクトリー・リセットをすると、HS-5 の設定がすべて初期化されます。設定を残しておきたい場合は、「設定の保存と読み込み (スナップ・ショット)」(P.10) に記載の手順で設定を保存してください。

主な仕様

ローランド HS-5 : オーディオミキサー

【内部処理】

●サンプリング周波数
44.1kHz

●信号処理
AD / DA 変換 : 24 ビット

【レコーダー】

●トラック数 : 2トラック (ステレオ)

●レコーディング・モード
USB メモリー : WAV (44.1kHz、16 ビット)

●記憶メディア
USB メモリー (512MB ~ 32GB)

●録音時間 (単位 : 時間)
2GB : 3
4GB : 6
8GB : 12
16GB : 24
32GB : 48

※ 録音時間は目安です。USB メモリーの仕様などにより変わることがあります。

※ 録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより小さくなります。

※ 1 曲あたりの録音時間は最大 200 分です。

●録音曲数
512 曲

【エフェクト】

●ギター用
アンプ (Amp) : 10 種類

●ベース用
アンプ (Amp) : 5 種類

●ボーカル用
コンプレッサー、イコライザー、ディレイ

リバーブ (Reverb) : 5 種類

【入出力】

●オーディオ入力
セクション A ~ D = MIC 端子 : XLR タイプ (バランス)、INPUT L/R 端子 : 標準タイプ (アンバランス) ※ 1
セクション E = INPUT L/R 端子 : 標準タイプ (アンバランス)、ステレオ・ミニ・タイプ

※ 1 INPUT L 端子はハイ・インピーダンスに対応

●オーディオ出力
セクション A ~ D = PHONES 端子 : ステレオ・標準タイプ、ステレオ・ミニ・タイプ
セクション E = PHONES 端子 : ステレオ・ミニタイプ、OUTPUT L/R 端子 : 標準タイプ (アンバランス)

●周波数特性
20Hz ~ 20kHz (+0dB / -2dB)

【その他】

●外形寸法
257 (幅) × 248 (奥行き) × 68 (高さ) mm

●質量 (AC アダプターを除く)
1.1kg

●電源
AC アダプター

●消費電流
1.2A

●付属品
取扱説明書
「安全上のご注意」チラシ
AC アダプター
電源コード
ローランド ユーザー登録カード
保証書

●別売品
スタンド : Roland PDS-10

※ 0dBu = 0.775Vrms

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間 : 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (弊社規定の休日を除く)

※ IP 電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に "0000" (ゼロ4回) をつけて NTT の一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※ 上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント / キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <https://www.roland.com/jp/>

ボス・ホームページ <https://www.boss.info/jp/>

'16. 10. 01 現在 (Roland)

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1